

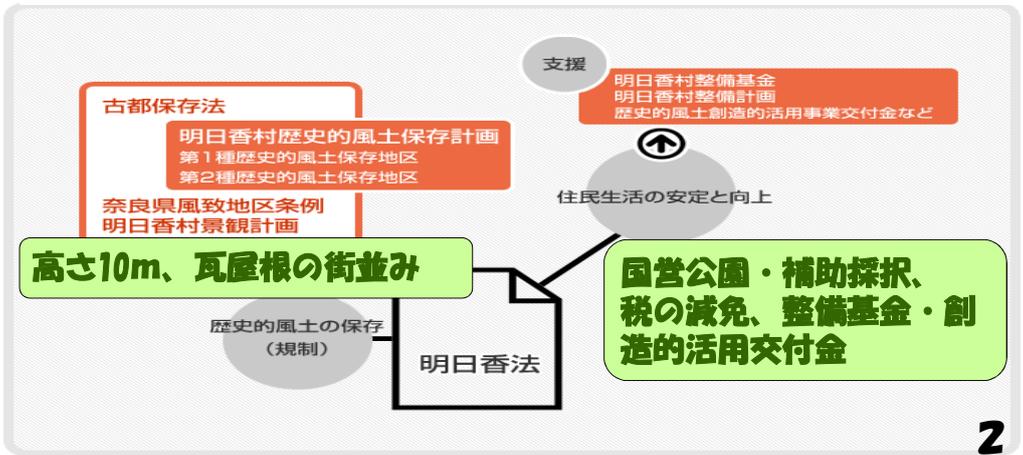


1-1 明日香村特別措置法

S45年1月1日 御井敬三氏の「声の直訴状」を佐藤栄作首相に
S45年5月 「飛鳥古京を守る議員連盟」が結成

1980年5月「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」公布

目的/明日香村のかけがえのない風土を未来に向けて創造的に創世



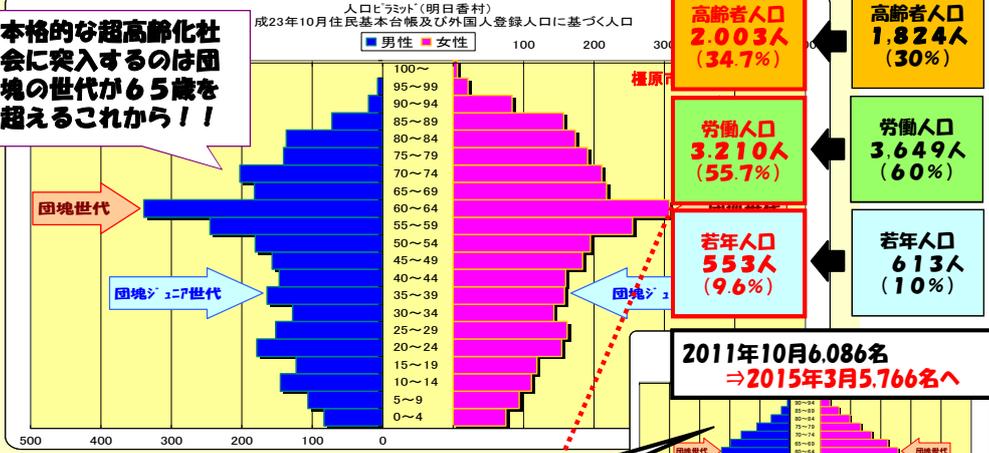
1-2 消滅可能性市町村<人口>

2040年に20/30代女性は今の1/4に!

[2015年3月
住民基本台帳]

[2011年10月
住民基本台帳]

本格的な超高齢化社会に突入するのは団塊の世代が65歳を超えるこれから!!

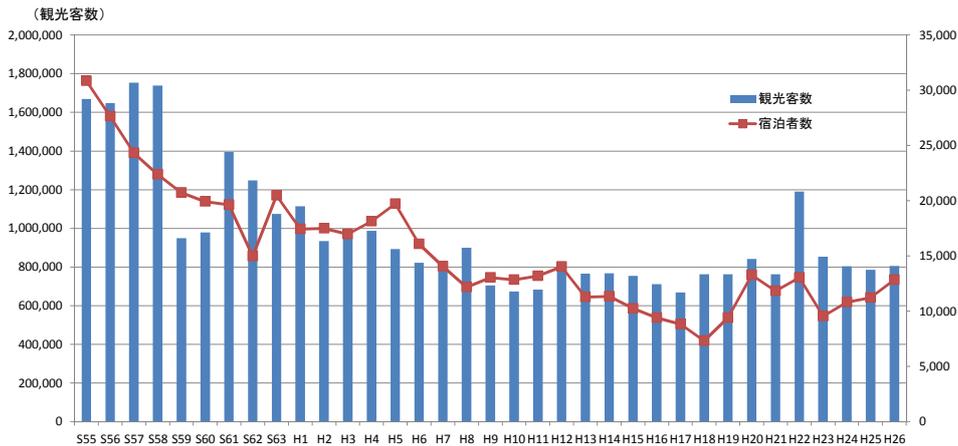


H25年度、26年度の社会増減は、20代の転出傾向は続くが、全体では+10、+9と増加傾向

2011年10月6,086名
⇒2015年3月5,766名へ

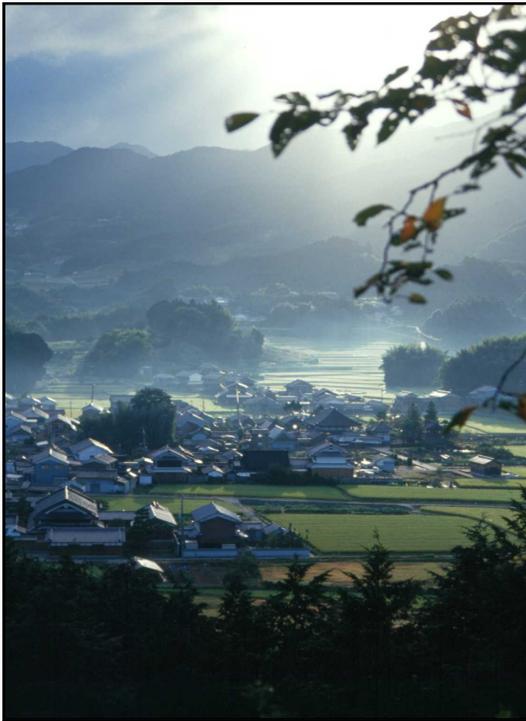
3

観光客と宿泊者の状況



- ★現状
- (1) 観光客数は昭和57年をピークに減少し、平成26年はピーク時の半分以下になっている。平成22年は平城遷都1300年事業(H22.4.24~11.7)で一時的に観光客は増えている。
 - (2) 村内宿泊者は、観光来訪者の約1.6%で大半が日帰り観光となっている。
 - (3) 近年の宿泊者の増加は民家ステイ(教育旅行)の影響が大きい。

4



2. 飛鳥の魅力

1) 日本人の心のふるさと

～八十万の神々が坐ます～

ほっとする明日香/
強い自然と人との共生

～忘れられない景色～

ある冬の朝、夜明け前に村内で火災があり、鎮火して自宅へ帰る途中、朝日が昇り始めました。その時、明日香の真神原が朝靄の中から浮かび上がりました。つい車を止め、車外に出て見入っていると、知らぬ間に同じように立ち尽くす車列ができていました。(森川裕一)

「朝明けの真神原（まがみはら）」

第17回明日香路賞：シノイサム氏

5

2) 日本国誕生／日本の国のはじまり

【遣隋使／日の出どころの天子】

聖徳太子～橘 寺
推古天皇～飛鳥寺
蘇我馬子～石舞台

607年

589年 隋、中国統一

618年 唐、興る



【大化の改新／乙巳の変】

天智天皇と藤原鎌足
～槻木の広場
645年 蘇我入鹿～首塚

660年 百濟滅亡

663年 白村江の戦い

666年 高麗若光来日
668年 高句麗滅亡

694年 藤原京遷都



631年 扶余豊璋来日
662年 豊璋 百濟へ

【壬申の乱】 672年

天武天皇と持統天皇
～嶋宮、さららの

668年以降 遣新羅使28回



6

飛鳥からはじまる「日本の枠組み10」



飛鳥大仏
推古17年(609)
わが国初の大仏建立に、
高句麗王から黄金300両
が献上された！

- ① 「日本」「天皇」という呼称
- ② 時計と暦／最初の漏刻
- ③ 官僚制度／役所組織の成立
- ④ 戸籍制度と住所表示／木簡
- ⑤ 納税制度／各地からの特産品
- ⑥ 貨幣経済のはじまり／富本銭
- ⑦ 仏教隆盛／国際文化センター
- ⑧ 記紀万葉／歌集・歴史書編纂
- ⑨ 古墳壁画／大陸との交流
- ⑩ 都市計画／苑池・大道・京

7

3) 7世紀／古代世界の大交流時代



7世紀前半、東アジアでは中国大陸で唐が台頭。朝鮮半島は軍事的な驚異に晒される。663年の白村江の敗北と百濟滅亡により、倭国も唐との極度の緊張関係に陥った。倭国は対外防衛の強化と国内体制の整備が急速にすすめられ、7世紀後半には天皇を中心とした律令国家体制が整備され「日本国」が誕生。

8

古墳壁画／大陸との交流

東アジア現存最古



奈文研より資料提供

星宿図

飛鳥美人



考古学ブーム起こす

四神4体は日本唯一



奈文研より資料提供

朱雀

現地保存問題



玄武

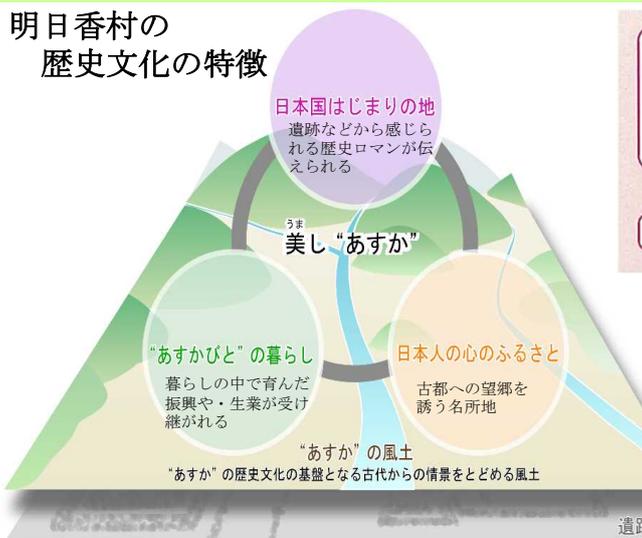
キトラ古墳（7世紀末頃）

高松塚古墳（8世紀初頭前後）

3. 明日香村歴史文化基本構想

(H27. 3策定)

明日香村の
歴史文化の特徴



【保存】 両輪 【活用】

支える

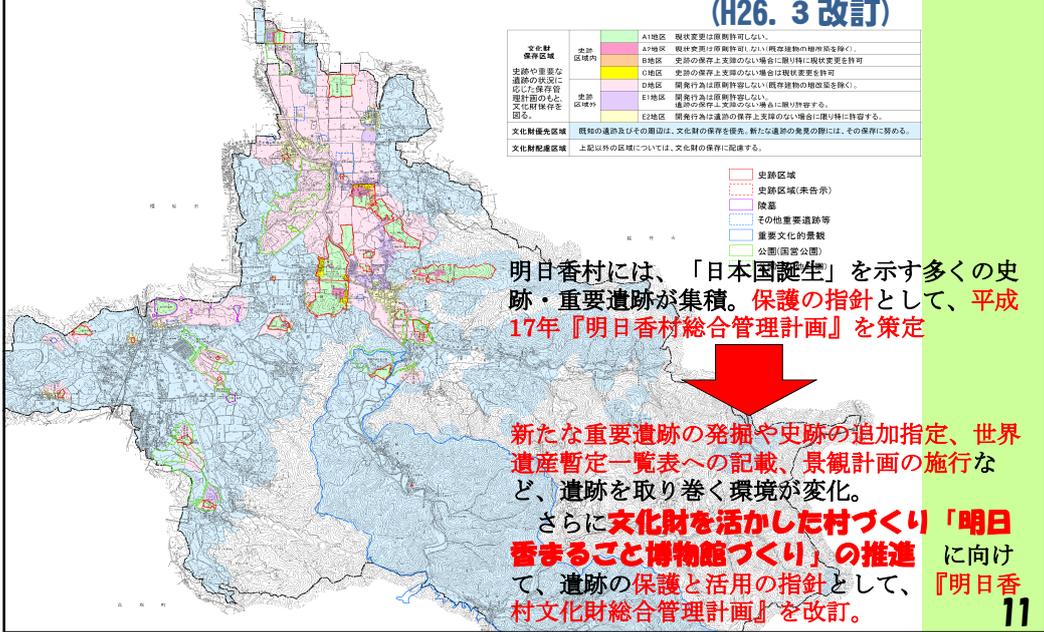
【基盤づくり】

- 「美しあすか」を
学び、育み、活かす
- ① 学び、育み、活かす
…ひとと文化の在り方を学び
 - ② 歴史文化を守る
…文化財と周辺環境の保存管理
 - ③ 歴史文化を活かす
…文化財と周辺環境の活用

※「美し（うまし）」とは、遺跡や建造物等、歴史的風土などがつくる形象美のすばらしさ、また、歴史や伝承とともに味わい、褒め称える（嘆美・賛美）言葉として、「美し（うまし）」という言葉を用いる

明日香村文化財総合管理計画

(H26. 3 改訂)



4. 明日香まるごと博物館づくり



13

推古	舒明	皇極	孝徳	斉明	天智	天武	持統	文武	元明
592 ・飛鳥寺の発願 ・豊浦宮で即位 ・第一回遣隋使の派遣 ・十七条憲法の制定	629 ・飛鳥岡本宮に遷宮	642 ・飛鳥板蓋宮に遷宮 ・百濟大寺の建立 ・遣唐使の派遣	645 ・難波宮に遷都 ・乙巳の變	656 ・後飛鳥岡本宮に遷都 ・改新の詔	667 ・近江大津宮に遷都 ・白村江の戦い ・漏刻の設置	672 ・飛鳥浄御原宮に遷都 ・壬申の乱 ・庚午年籍の作成	672 ・飛鳥浄御原令の制定 ・歴史書編纂開始	694 ・藤原京に遷都 ・大宝律令の制定	710 ・平城京に遷都 ・遣唐使の再開

善信尼

額田王

事例4 日本遺産：「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」
 【橿原市・高取町・明日香村で共同申請 H27.4.24認定】
 飛鳥時代に3人の女帝が活躍し、日本国創成の基礎を作った。
 推古帝、皇極帝・斉明帝(善徳女王の頃)、持統帝の3人に加え、
 善信尼、額田王の計五人のストーリーが日本遺産に認定された。
 〈物語と体験メニュー〉
 ・飛鳥物語読本、飛鳥ナビゲーター、モニターツアー
 などを通じて、数年後海外プロモーションへ

14

教育旅行・民家ステイの推進

宿泊施設が少ない飛鳥地方で、農家等を受入施設とし、農業体験や郷土料理などの体験プログラムを提供。海外からの学生も受け入れ拡大。明日香村商工会などで構成される飛鳥ニューツーリズム協議会が運営。

【2013年4月本格稼働】 H25年度2500泊、H26年度3200泊、H27年度4800泊予定



入村式



掃除体験



和太鼓体験



柿の葉粥しづり体験



記念撮影

受入民家：橿原市・桜井市・高取町・明日香村の160軒へ拡大。
平成26年度より広域行政事務組合からの支援も

和太鼓体験

15

Ev車Michimo 飛鳥地方に導入

- サービス開始：
プレオープン 2014年10月11日 5台
正式サービス 2015年4月 17台
- 営業時間：09:00-18:00
- 料金：1日8000円、3時間3000円(税抜)
- 利用方法：事前に予約および決済後、
近鉄飛鳥駅前の営業所にて貸し出し
(EV車両：NISSAN)
- 問い合わせ先：0744-54-4577
一般財団法人明日香村地域振興公社

【2014.10.11~】



- エネルギーは電気：リチウムイオン電池を搭載した電動車両
- スピードは自動車並：最高速度 時速80km
- 1回の充電で100キロ走れます：航続距離 100km
- バイクのようにコンパクト：全長 234cm、全幅 119cm、全高 145cm
- 重さは普通自動車の3分の1：車両重量 470kg
- 2人までの移動に最適：乗車定員：2名

橿原市・高取町・明日香村で共同申請、
2014.10~運用開始、2015~橿原市内に拡大



16

5.明日香まると博物館／三つのゾーンと藤原京

藤原京 都ゾーン:

大和三山を含んだ藤原京(新益京/あらしのみやこ)の区域で、日本国形成期の集大成となるエリア

奥津城 古墳ゾーン:

高松塚古墳壁画、キトラ古墳壁画、日本を代表する終末期古墳などが点在するエリア

奈文研より地図資料提供



飛鳥京 歴史ゾーン:

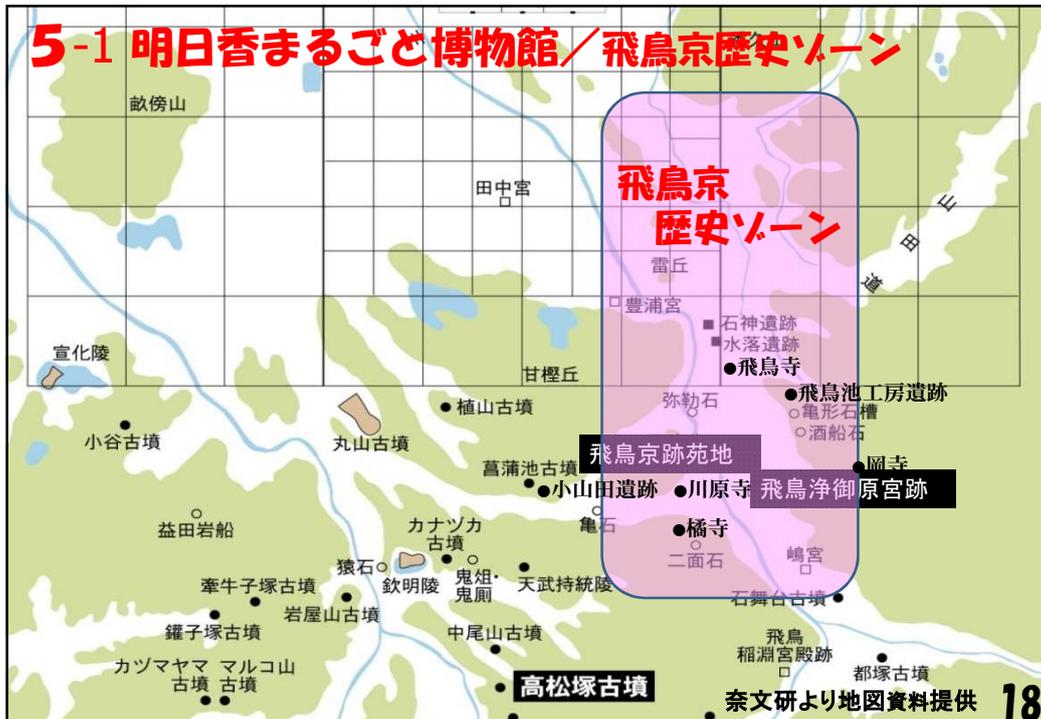
飛鳥時代、遣隋使・遣唐使、大化の改新など、日本の国の枠組みが形成されたエリア

飛鳥京 自然ゾーン:

飛鳥川、棚田、女構・男構など、自然と共に生きる日本人の心象風景が息づくエリア

17

5-1 明日香まると博物館／飛鳥京歴史ゾーン



奈文研より地図資料提供

18

観／見どころ **歴史展示の推進(飛鳥浄御原宮跡)**

飛鳥京跡苑池 **飛鳥宮跡の整備活用構想(素案)**

平成25年度に「飛鳥宮跡保存活用構想」を策定
平成26年度から 史跡指定拡大・公有化をめざす

飛鳥京跡苑池については、
2015(平成27年)に、展望施設整備へ

伝飛鳥板蓋宮跡は、2015(平成27年)より、
県が国の史跡拡大へ

平面表示地区
立体復元地区

飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮)

19

5-2 明日香まると博物館／飛鳥京歴史ゾーン

宣化陵 豊浦宮 石神遺跡 水落遺跡 甘櫻丘 弥勒石 飛鳥京苑池遺構 飛鳥浄御原宮跡 龜形石槽 酒船石 小谷古墳 丸山古墳 植山古墳 菖蒲池古墳 飛鳥 嶋宮 石舞台古墳 飛鳥 都塚古墳 牽牛子塚古墳 猿石 欽明陵 鬼俎 鬼廁 天武持統陵 二面石 飛鳥 稻淵宮殿跡 高松塚古墳 岩屋山古墳 中尾山古墳 塚本古墳 文武陵 東明神古墳 カツマヤマ マルコ山 古墳 古墳 文

奥津城古墳ゾーン

キトラ古墳

奈文研より地図資料提供

20

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区

【2016年 供用開始予定】



朱雀、白虎、玄武、青龍、十二支、及び星宿図が体験館で保存・展示へ



文化庁文化財部より資料提供



飛鳥歴史公園事務所より資料提供

21

牽牛子塚古墳（越塚御門古墳）周辺の整備



牽牛子塚古墳

飛鳥時代の大王墓で齊明天皇と娘の間人皇女、孫娘の大田皇女を埋葬した終末期古墳と考えられる。

イメージ図



整備方針

- （牽牛子塚古墳）石室は公開、八角形墳を体感できるように
- （越塚御門古墳）石室は公開、墳丘を理解できるように

**【2014年度基本計画と公有化
2016年度実施設計決定～】**

平成30年度 整備完成をめざす。今後、与楽古墳群や益田岩船へのアクセスも

22

高松塚古墳壁画保存の経緯

- ・平成17年度 国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会で解体修理を決定
- ・平成19年度 石室の解体
- ・平成20年度 修理作業室の公開
- ・平成21年度 墳丘仮整備完成
- ・平成24年度 壁画保存方法の検討を開始
- ・平成29年度 **修理完了予定**



文化庁文化財部より資料提供

【現在までの議論】

- ・「古墳壁画の保存活用に関する検討会」にて、将来には原位置に戻す可能性を残すが、現時点は、技術的に困難。

【村の希望】

- ・壁画を保存しながら活用する施設(高松塚壁画公開施設)が必要。施設は、古墳のある国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区周辺がふさわしい。

23

高松塚壁画公開施設の候補地

- A. 県道沿いの位置**
→ 県道沿い、アクセスが良い
占用施設の撤去が必要
- B. 芝生公園の奥**
→ 現地との一体性がある
エリア拡大が必要
- C. 高松塚壁画館の場所**
→ 現地と一体性がある
施設を大規模にする必要がある



高松塚周辺地区の概要

24